

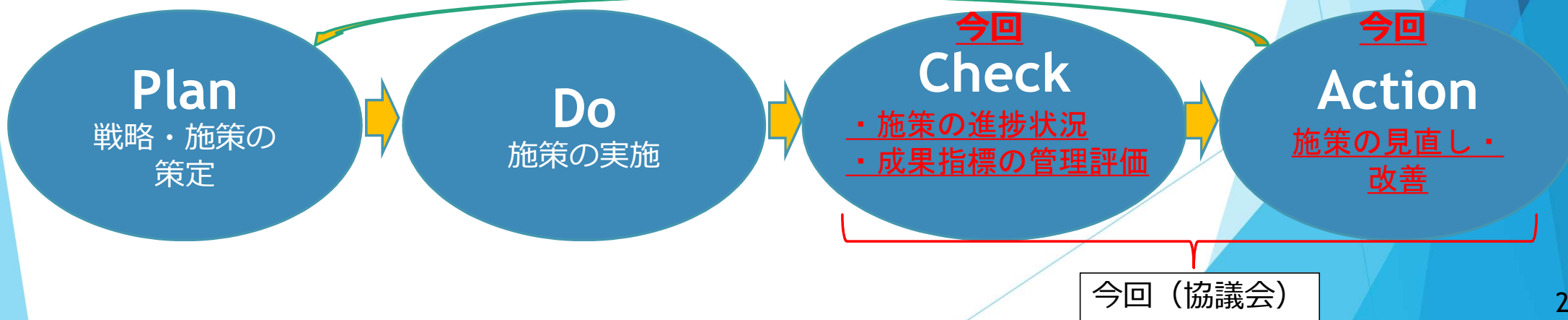
熊本都市圏総合交通戦略協議会

熊本県 都市計画課

熊本市 都市政策課

1. 総合交通戦略の概要

- ▶ 熊本都市圏の将来像を実現していくための都市交通体系を示す「熊本都市圏都市交通マスタープラン」を2016年(H28) 3月に策定。
- ▶ 都市交通マスタープランで示された将来の都市像や施策を具体的に取り組むための実行計画として、「熊本都市圏総合交通戦略」を2018年(H30)11月に策定。
- ▶ 総合交通戦略では、「主要施策」「事業主体」「対象地域」「整備スケジュール」などを示し、その進捗管理や効果検証をもとに必要な見直しを行いながら、着実かつ継続的に実施。
- ▶ 2022年度 (R4) (短期終了後1年経過時点) 及び2026年度 (R8) (最終年の次の年) には、施策の進捗状況・成果指標の達成状況を確認しながら評価し、必要に応じて総合交通戦略を見直し・改善。



2. 総合交通戦略の目標

(1) 基本施策の体系及び戦略目標

公共交通

【目標】 持続可能で利便性が高く、災害時に早期に機能復旧する公共交通ネットワークの形成

- ①基幹公共交通の定時性、速達性、輸送力の強化
- ②バス路線網の再編
- ③コミュニティ交通の拡充
- ④公共交通の利用促進、防災力の向上

道路

【目標】 都市圏内外の人流・物流、災害時活動を支援する骨格幹線道路網の形成

- ①2環状1放射道路網の形成
- ②交差点改良等による交通円滑化
- ③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備
- ④基幹交通軸と一体となった道路整備

まちなか交通

【目標】 高次都市機能を有する中心市街地等の拠点性・アクセス性及び防災性の向上

- ①中心市街地の拠点機能の向上
- ②歩行者ネットワークの形成
- ③自転車ネットワークの形成

2. 総合交通戦略の目標

(2) 基本施策の横断的な連携

【連携パッケージ】

○横断的・戦略的に組み合わせることで相関的・相乗的に効果を発揮する施策をパッケージ化

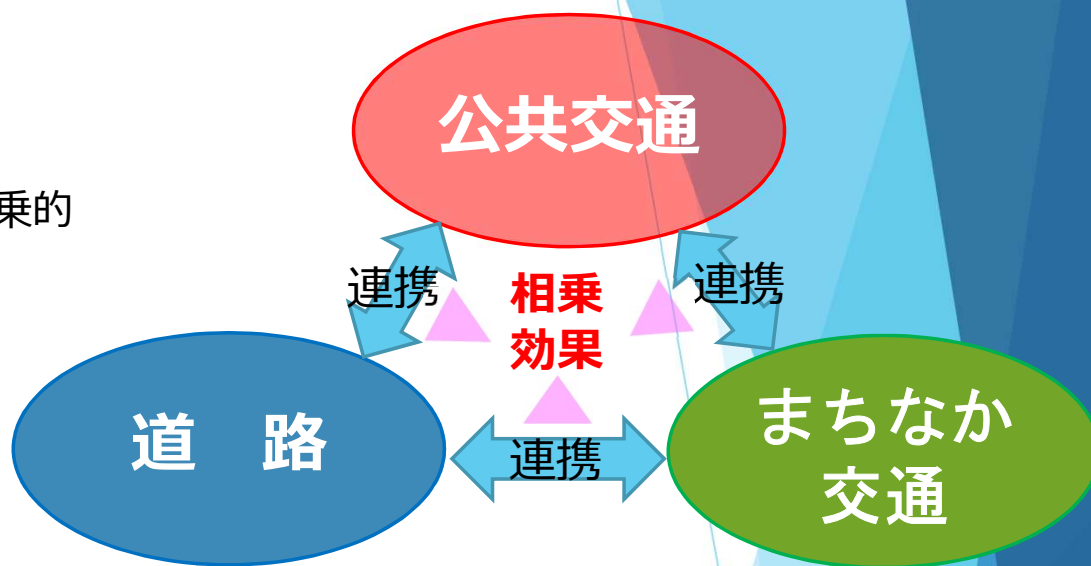
- ◆「公共交通」×「道路」
- ◆「道路」×「まちなか交通」
- ◆「公共交通」×「まちなか交通」

(3) 実施時期

○実施時期は「短期」「中期」「中長期」「以降」で整理

- 1 短期 (2020年度(R2)までに完了する施策)
- 2 中期 (2023年度(R5)までに完了する施策)
- 3 中長期 (2025年度(R7)までに完了する施策)
- 4 以降 (2026年度(R8)以降に継続する施策)

【連携パッケージのイメージ】



(4) 実施施策

	公共交通	道路	まちなか交通	計
短期	15	35	7	57
中期	4	29	15	48
中長期	1	16	4	21
以降	40	44	8	92
合計	60	124	34	218

※その他「実施検討施策」が7施策

3. 施策の進捗状況（実施施策全体）

- ▶ 2021年度（R3年度）末時点で、実施施策**218**施策のうち**70**施策（**32%**）が完了（図-1参照）
- ▶ 完了施策のうち、**短期は50施策**、**中期12施策**及び**中長期以降8施策**が前倒しで完了
- ▶ 未完了施策のうち、事業中が134施策、未着手が14施策、計画より遅れている施策が15施策（図-2参照）

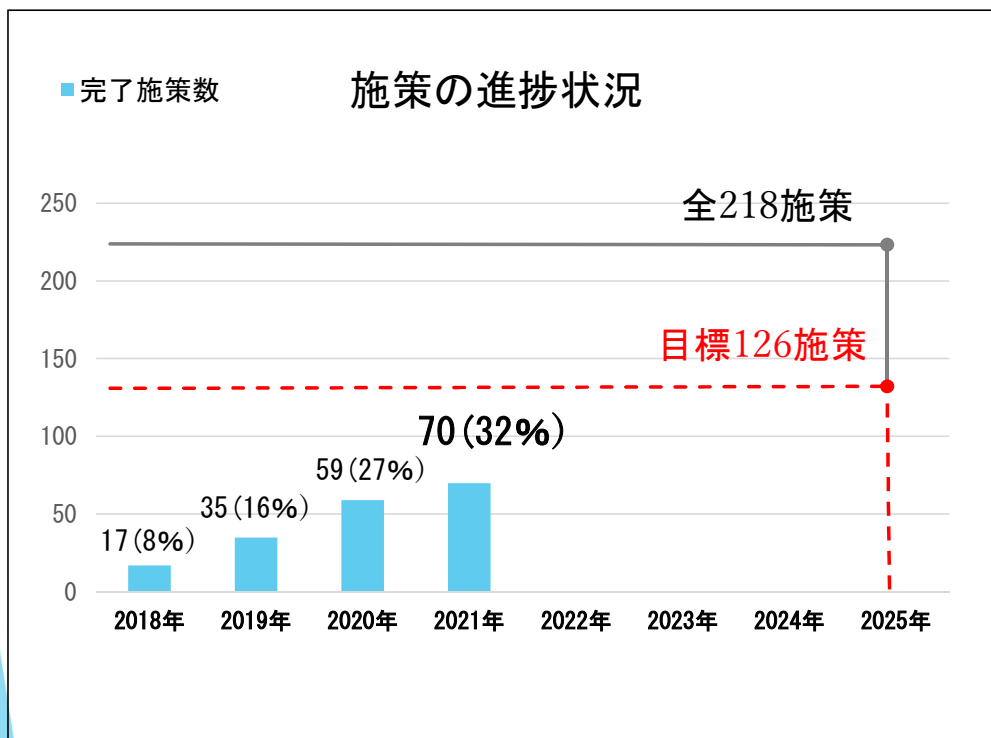


図-1 施策の進捗状況

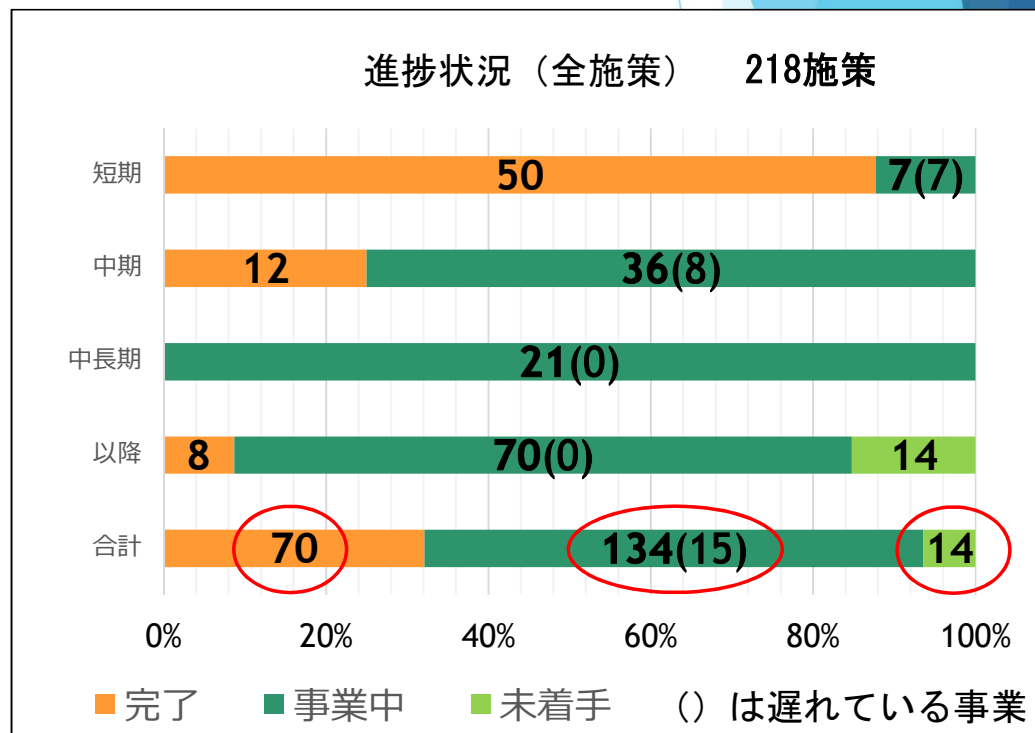
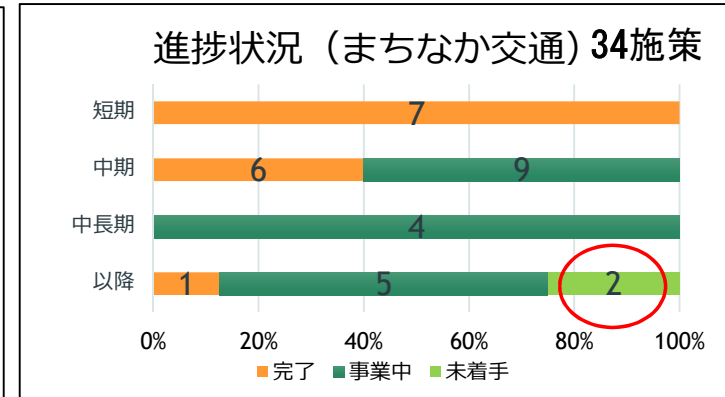
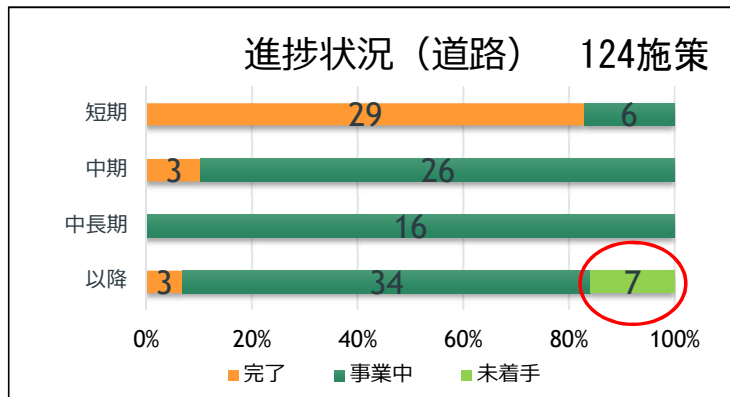
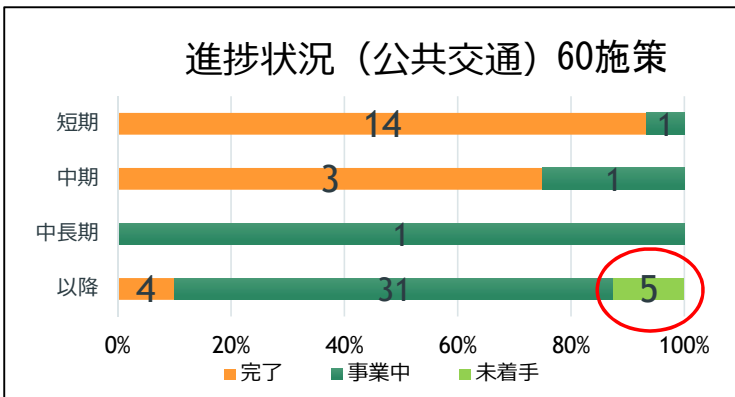


図-2 2021年度（R3）進捗状況

3. 施策の進捗状況（実施施策全体）

- ▶ 2021年度（R3）末時点で、14施策が未着手
- ▶ 未着手施策*のうち、中長期以降の公共交通が5施策、道路が7施策、まちなか交通が2施策
- ▶ 未着手の主な理由は、他施策や関係者との調整、2022年度（R4）以降の着手などが挙げられる



	施策No.	施策名	実施主体・関係者	完了時期	未着手の理由	現在の状況
■ 熊本市	公共交通 4	快速バスの導入検討	熊本市,バス事業者	以降 (2026~)	高規格道路等、その他の施策と合わせて実施することとしているため	未着手
■ 熊本市	公共交通 16	バス路線網再編と交通結節点整備の検討・実施 (合志・菊池方面)	熊本市,バス事業者,熊本県	以降 (2026~)	関係者との合意形成が必要であり、時間を要しているため	未着手
■ 熊本市	公共交通 19	バス路線網再編と交通結節点整備の検討・実施 (益城・空港方面)	熊本市,バス事業者,熊本県	以降 (2026~)	関係者との合意形成が必要であり、時間を要しているため	未着手
■ 熊本市	公共交通 20	バス路線網再編と交通結節点整備の検討・実施 (嘉島方面)	熊本市,バス事業者,熊本県	以降 (2026~)	関係者との合意形成が必要であり、時間を要しているため	未着手
■ 熊本市	公共交通 21	バス路線網再編と交通結節点整備の検討・実施 (宇土・宇城方面)	熊本市,バス事業者,熊本県	以降 (2026~)	関係者との合意形成が必要であり、時間を要しているため	未着手
■ 熊本市	道路 76	県道砂原四方寄線(都)熊本西環状線 熊本市西区砂原町~池上町)暫定2車線整備	熊本市	以降 (2026~)	2022年度以降着手予定としているため	着手済
■ 熊本市	道路 80	県道熊本玉名線((都)池田町花園線 熊本市西区上熊本2丁目)整備	熊本市	以降 (2026~)	2024年度以降着手予定としているため	未着手
■ 熊本市	道路 126	(都)高平麻生田線(熊本市北区高平1丁目~熊本市北区清水本町)整備	熊本市	以降 (2026~)	2023年度以降着手予定としているため	未着手
■ 熊本市	道路 140	(都)下南部画図線(熊本市東区西原3丁目~熊本市東区若栗6丁目)整備	熊本市	以降 (2026~)	2024年度以降着手予定としているため	未着手
■ 熊本市	道路 143	(都)新外秋津線(熊本市東区小峯1丁目~熊本市東区佐土原1丁目)整備	熊本市	以降 (2026~)	2024年度以降着手予定としているため	未着手
■ 熊本市	道路 144	(都)新土河原出水線(熊本市南区田迎6丁目~熊本市中央区国府4丁目)整備	熊本市	以降 (2026~)	2024年度以降着手予定としているため	未着手
菊池市	道路 161	市道住吉赤星線(菊池市出田~菊池市泗水町住吉)整備	菊池市	以降 (2026~)	2024年度以降着手予定としているため	未着手
■ 熊本市	まちなか交通 206	市道新屋敷3丁目大江5丁目第1号線(熊本市中央区 新屋敷交差点~白山交差点)自転車走行空間整備	熊本市	以降 (2026~)	2026年度着手予定としているため	未着手
■ 熊本市	まちなか交通 207	県道熊本高森線(熊本市)自転車走行空間整備	熊本市	以降 (2026~)	2026年度着手予定としているため	未着手

※未着手施策は全て、2026年度（R8）以降に継続する施策で、本年度以降着手予定のもの

3. 施策の進捗状況（短期施策）

- ▶ 短期施策の57施策のうち、完了が50施策（約9割）、未完了が7施策
- ▶ 未完了の主な理由は、熊本地震からの復旧工事の優先や用地取得難航などが挙げられる

短期施策の進捗状況

■ 公共交通 ■ 道路 ■ まちなか交通 ■ 未完了

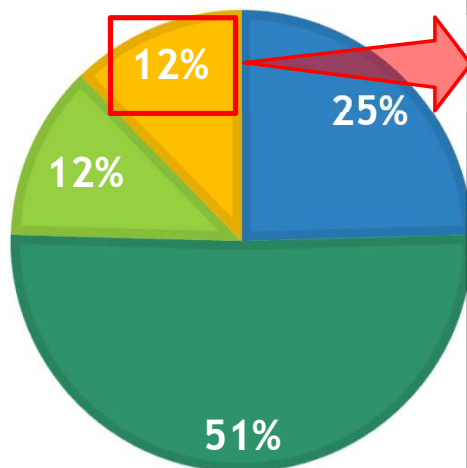


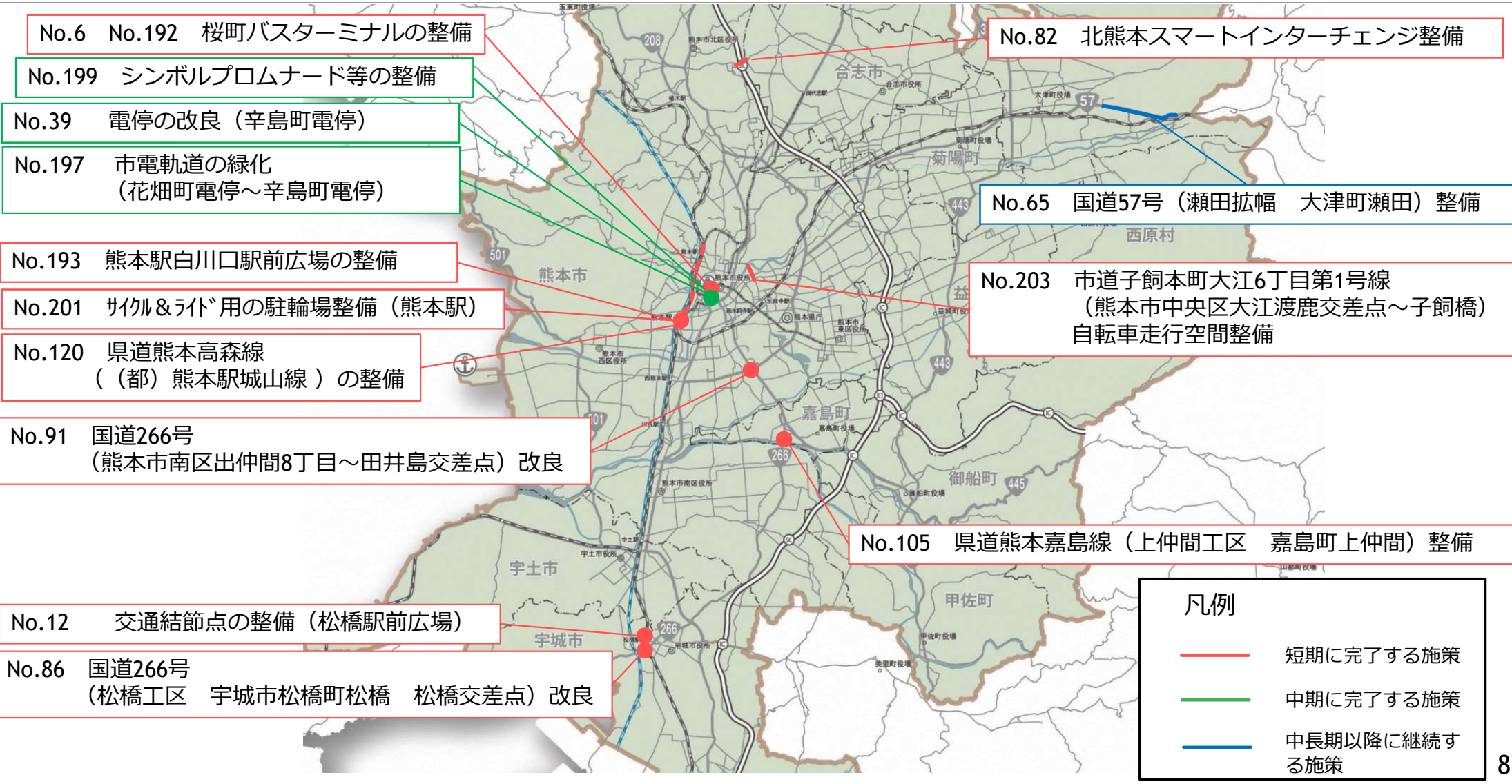
表 - 1 未完了の短期施策

分野	No.	施策名	実施主体・関係者	未完了の理由	完了予定年度
公共交通	14	空港アクセスの改善(新交通システムの検討)	熊本県	周辺の立地条件の変化等により検討に時間を要したため	R4
道路	110	県道御船甲佐線(滝川工区 御船町滝川)整備	熊本県	用地取得に期間を要しているため	R4
道路	124	市道川尻町下無田第1号線(熊本市区元三4丁目～熊本市区画図町下無田)整備	熊本市	隣接橋梁架替事業により、接続部の施工時期の調整による遅延	R8
道路	150	市道御代志木原野線(合志市御代志～野々島)整備	合志市	雨水の排水処理施設の整備を追加したため	R5
道路	159	仮称・松橋駅西線(宇城市不知火町高良)整備	宇城市	用地取得に期間を要しているため	R5
道路	168	町道西寒野打越線(甲佐町西寒野～東寒野)整備	甲佐町	熊本地震に伴う復旧工事を優先したため	R5
道路	169	町道上揚井戸江線(甲佐町上揚～安平)整備	甲佐町	熊本地震に伴う復旧工事を優先したため	R5

(未完了理由)

- ・ 熊本地震に伴う復旧工事を優先したため・・・2件
- ・ 用地取得に不測の期間を要したため・・・2件
- ・ 周辺の立地条件の変化や他事業との調整等・・・3件

3. 施策の進捗状況（位置図（主な完了施策））



3. 施策の進捗状況（連携パッケージ）

公共交通 × まちなか交通

▶ 中心市街地等への公共交通アクセス改善

（公共交通 No.6 まちなか交通 No.192） **桜町バスターミナルの整備**

（まちなか交通 No.199） **シンボルプロムナード等の整備**

- ▶ 桜町バスターミナルの整備と合わせシンボルプロムナードの整備等を行い、歩行者ネットワーク形成を図る
- ▶ “車中心”から“人中心”への転換として、道路の広場空間化を行うと共に、再整備を行う辛島・花畑の公園と一体となつて、多様なイベントが展開され、賑わいやくつろぎ空間の創出が期待される



整備完了後のシンボルプロムナード



桜町バスターミナル

3. 施策の進捗状況管理（連携パッケージ）

公共交通×道路

▶ 基幹公共交通の機能強化

（公共交通 No.12）

交通結節点の整備（松橋駅前広場）

- ▶ 松橋駅前広場を整備することで、交通結節機能の強化を図るとともに安全な歩行者空間の確保や賑わい・交流の創出を図る
- ▶ 併せて、駐輪場整備により公共交通利用者増加と満足度の向上が期待される



整備完了後の松橋駅西口駅前広場

（道路 No.86）

国道266号(松橋工区 宇城市松橋町松橋 松橋交差点)改良

- ▶ 松橋交差点（国道266号と県道松橋停車場線）の右折レーン設置による松橋駅へのアクセス向上を図る
- ▶ 交通結節点へのアクセス性の向上による地域活性化や救急医療への支援などが期待される



国道266号（松橋交差点）の改良

3. 施策の進捗状況（連携パッケージ）

道路×まちなか交通

▶ 広域交通拠点周辺道路整備による拠点性向上

（道路 No.120）

県道熊本高森線（（都）熊本駅城山線）の整備

- ▶ 鹿児島本線を跨いでいた当該道路について、新幹線整備に伴う高架整備と併せ、平面交差化及び4車線化を実施
- ▶ 主要渋滞箇所である田崎町交差点の渋滞緩和、歩行者等の安全性向上及び防災性の強化が期待される



整備後の（都）熊本駅城山線

（まちなか交通 No.193）

熊本駅白川口駅前広場の整備

- ▶ 駅前にバス・タクシー等の乗降場を集約し、乗換え利便性の向上や、快適な歩行空間を確保
- ▶ 併せて整備した駅前広場は、人々の交流や災害時の一時避難スペースとしての利活用が期待される



整備完了後の熊本駅（白川口）の状況

3. 施策の進捗状況 道路

① 2環状11放射道路網の形成

(道路 No.65) 国道57号(瀬田拡幅 大津町瀬田)整備

- ▶ 2環状11放射道路網の第4放射道路にあたる国道57号瀬田拡幅の4車線化整備を実施し、走行性向上・交通渋滞の緩和・地域活性化を図る
- ▶ 阿蘇地域と熊本都市圏を結ぶ重要なネットワークの構築により、都市圏内外の広域的な交流が期待される



(道路 No.82) 北熊本スマートインターチェンジ整備

- ▶ 既存ストック（北熊本SA）を活用し、熊本市及び合志市の利便性向上を図るため、スマートインターチェンジを整備
- ▶ アクセス性の向上による地域活性化や、救急医療への支援などが期待される



北熊本スマートインターチェンジの周辺

3. 施策の進捗状況 道路

②交差点改良等による交通円滑化

(道路 No.91) 国道266号(熊本市南区出仲間8丁目～田井島交差点)改良

- ▶ 田井島交差点において、右折車線滞留長の延伸により、渋滞等の交通障害の緩和をはじめとする自動車交通の円滑化を図るもの



③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備

(道路 No.105) 県道 熊本嘉島線(上仲間工区 嘉島町上仲間)整備

- ▶ 国道266号と熊本嘉島線交差点において、左折車により直進車が阻害されていたため左折レーンを設置する交差点改良を実施
- ▶ 拠点間を結ぶ道路の円滑化による地域活性化が期待される



3. 施策の進捗状況

公共交通

(公共交通 No.39) 電停の改良 (辛島町電停)

(公共交通 No.197) 市電軌道の緑化 (花畑町電停～辛島町電停)

- ▶ バリアフリー化を図る電停改良に併せ市電軌道の緑化を実施し、快適性と安全性の向上に資するみどり豊かな軌道空間を形成
- ▶ 快適性の向上による公共交通の利用促進及び利用者の安全確保が期待される

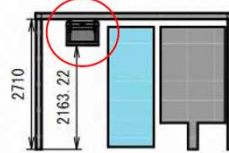


(公共交通 No.45) 公共交通案内情報の提供(バスロケーションシステムの導入)

- ▶ スマートフォン等や主要バス停モニターでバスの現在地を把握できるシステム整備により、バスの利用促進を図る



スマートフォンでのバス位置確認のイメージ



バス停モニターの設置

車種	目的地	行先	時刻
空1	熊本駅	熊本駅前・熊本交通センター	10:10
空2	熊本駅	熊本駅前・熊本交通センター	10:31
空3	熊本駅	熊本駅前・熊本交通センター	10:50
空4	熊本駅	熊本駅前・熊本交通センター	11:10
空5	熊本駅	熊本駅前・熊本交通センター	11:21

車種	目的地	時刻
1	熊本駅前	10:10
2	熊本駅前	10:31
3	熊本駅前	10:50
4	熊本駅前	11:10
5	熊本駅前	11:21

3. 施策の進捗状況

まちなか交通

(まちなか交通 No.201) サイクル&ライド用の駐輪場整備 (熊本駅)

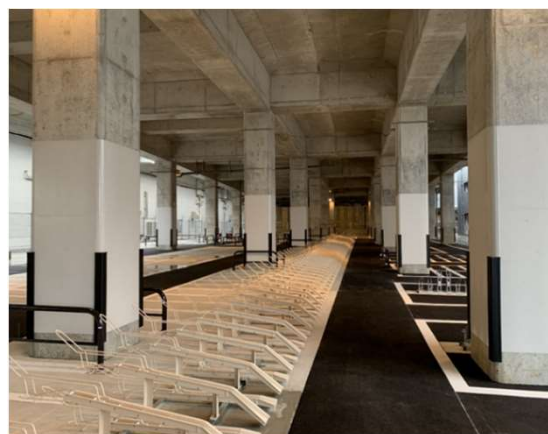
- ▶ 熊本駅前広場等整備と併せ、自転車ネットワークの形成を図るため駐輪場を整備
- ▶ また、自転車駐輪環境を改善することで、放置自転車等の解消により快適な都市環境の整備や快適な歩行空間の確保が期待される

(まちなか交通 No.203) 市道子飼本町大江6丁目第1号線自転車走行空間整備

- ▶ 既存道路に自転車走行空間の整備 (矢羽根型路面標示等) を行うことで、歩道上を通行する自転車の減少、左側通行の促進により、自転車利用者及び歩行者の安全性等の向上が期待される



整備後の熊本駅北自転車駐輪場



整備後の熊本駅南自転車駐輪場



矢羽根型路面標示等の設置

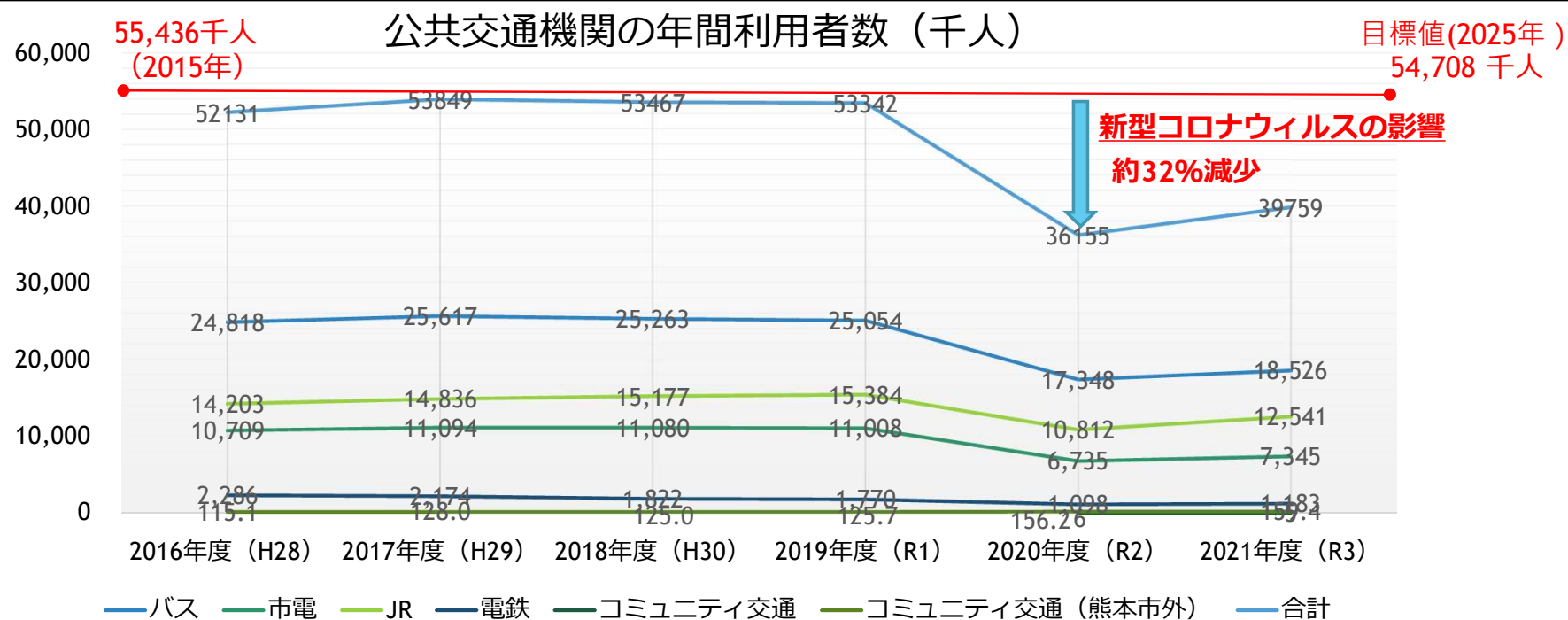
4. 成果指標の管理・評価

- ▶ 総合交通戦略最終年（2025年度）を目標とし、都市交通に関して、**平常時と防災の視点から15の評価指標を設定**
- ▶ **公共交通、道路、まちなか交通の区分**にて、指標のこれまでの推移を確認するとともに、個別に評価を実施

	区分	成果指標	策定時点の値		実績値			増減	目標値
			2015年(H27)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2021年(R3) -2015年(H27)	2025年(R7)
平常時の視点	公共交通	1 公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率	0.839			0.856	0.857	+0.018	0.839
	公共交通	2 公共交通機関の年間利用者数	55,436千人	53,342千人/年	53,216千人/年	35,993千人/年	39,595千人/年	▲15,751	54,708千人
	公共交通	3 日常的に公共交通機関を利用する住民の割合	47.5%	40.1%	39.7%	31.3%	28.8%	▲18.7%	50.0%
	道路	4 渋滞時における自動車の平均旅行速度	23.1km/h	17.3 km/h	19.5km/h	18.7km/h	18.3km/h	▲4.6km/h	28.0km/h
	道路	5 インターチェンジの日平均出入交通量	490百台/日	565百台/日	539百台/日	455百台/日	493百台/日	+3台	520百台/日
	まちなか交通	6 中心市街地の通行量	695,892人	747,324人	777,696人	633,600人	720,462人	+24,570人	758,000人
	まちなか交通	7 自転車駐輪場における日当たり平均利用台数	5,250台/日	3,274台/日	3,302台/日	3,154台/日	2,803台/日	▲2,447台/日	5,250台/日
	公共交通 まちなか交通	8 JR熊本駅の乗降客数	29,114人/日	30,750人/日	30,882人/日	18,930人/日	22,938人/日	▲6,176人/日	33,114人/日
	公共交通 道路 まちなか交通	9 都市機能が充実して安全・快適と感じる住民の割合	47.2%	48.1%	47.3%	49.3%	50.9%	+3.7%	47.2%
	公共交通 道路 まちなか交通	10 死傷事故件数	4,578件/年	3,398件/年	2,941件/年	2,235件/年	2,286件/年	▲2,292件/年	減少
防災の視点	公共交通	11 公共交通事業者によるBCPの策定又は既存BCPの強化の数	0社	4/6社	4/6社	4/6社	4/6社	+4社	6社
	道路	12 九州主要都市間ダブルネットワーク確保(放射、環状道路の整備延長)	—	4.1km	4.31km	7.41km	7.41km	+7.41km	18.5km
	道路	13 緊急輸送道路の防災機能の強化(無電柱化延長)	—	0.3km	1.26km	2.82km	2.82km	+2.82km	8.0km
	道路	14 緊急輸送道路の防災機能の強化(橋梁耐震化数)	—	5橋	12橋	14橋	14橋	+14橋	耐震化した橋の増加
	公共交通 まちなか交通	15 広域交通拠点の防災機能の強化箇所数	0箇所	0箇所	1箇所	2箇所	2箇所	+2箇所	3箇所

4. 成果指標の管理・評価 公共交通

- ◆ **現状**
 - ▶ 公共交通機関の年間利用者数は、2019年度までは約53百万人台を維持していたが、2020年度は約32%減の約36百万人に減少
- ◆ **理由**
 - ▶ 新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限等の影響により、利用者が減少し、未回復の状態
- ◆ **改善の方向性**
 - ▶ 公共交通機関利用の回復に向け、公共交通の利用促進や、シームレス化など新たな施策を積極的に実施することが重要



4. 成果指標の管理・評価 公共交通 × まちなか交通

◆ 現状

- ▶ 熊本駅白川口バスターミナルや桜町バスターミナルの整備により、中心市街地の通行量は2019年度まで増加したが、その後減少している状況

◆ 理由

- ▶ 新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限等により、公共交通の利用者が減少したためと考えられる

◆ 改善の方向性

- ▶ 広域交通拠点等の短期施策は完了したものの、公共交通の利用促進やまちなかの回遊性向上のための追加施策を積極的に実施していくことが重要

項目	主な施策	実施時期		
		短期（～2020）	中期（～2023）	中長期（～2025）
中心市街地等への公共交通利用促進（ハード）	広域交通拠点整備	熊本駅白川口・桜町バスターミナル整備		
中心市街地等への公共交通利用促進（ソフト）	モビリティマネジメントの実施	モビリティマネジメントの実施（住民への利用促進啓発、出前講座）		
	バス路線網の再編等	公共交通と連携した駐車場のあり方検討	バス路線網の再編、コミュニティ交通の導入	
広域交通拠点の防災機能強化	避難場所の整備	シンボルプロムナード等の整備		

凡例

▶ 完了施策

▶ 実施中

【中心市街地の通行量（単位：人）】

	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	目標値(2025年)
合計	695,892	709,188	906,648	747,324	777,696	633,600	720,462	758,000人

【JR熊本駅の乗降客数（単位：人/日）】

	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	目標値(2025年)
JR熊本駅の乗降客数	29,114	29,152	30,196	30,750	30,882	18,930	22,938	33,144人/日

4. 成果指標の管理・評価 公共交通 × 道路

◆ 現状

- ▶ 国道266号（松橋交差点）改良及び交通結節点（松橋駅）整備により、基幹公共交通が強化されたものの、JR松橋駅の利用者は、2020年度より減少し、回復していない状況

◆ 理由


- ▶ 新型コロナウイルスの感染症拡大の影響によることや駅へのアクセス道路である松橋駅西線が未完了のため


◆ 改善の方向性

- ▶ 新型コロナウイルスの影響により公共交通機関の利用者が未回復であるため、利用促進施策を積極的に実施していくことが重要
- ▶ 基幹公共交通拠点へのアクセス改善に向け、松橋駅西線の早期整備完了を目指す

項目	主な施策	実施時期		
		短期（～2020）	中期（～2023）	中長期（～2025）
基幹公共交通の強化 （宇土・宇城方面）	アクセス道路の整備	国道266号（松橋交差点）改良	松橋駅西線（宇城市不知火町高良）整備	
	交通結節点の整備	交通結節点の整備（松橋駅前広場）		

凡例

 完了施策

 実施中

【JR松橋駅の乗降客数（単位：人/日）】

	2018年度 （H30）	2019年度 （R1）	2020年度 （R2）	2021年度 （R3）
JR松橋駅の乗降客数	3,472	3,448	2,680	2,852

4. 成果指標の管理・評価

道路 × まちなか交通

◆ 現状

- ▶ 熊本駅白川口駅前広場や、サイクル&ライド用駐輪場の整備などにより、熊本駅周辺の通行量は増加

◆ 理由

- ▶ 熊本駅周辺の整備に加え商業施設の開業や駅前広場でのイベント開催などにより駅前のにぎわいが向上

◆ 改善の方向性

- ▶ 広域交通拠点である熊本駅の拠点性向上のため、県道砂原四方寄線（熊本西環状道路）や池上インター線等の拠点へのアクセス道路整備を推進し、早期に事業効果を発現することが重要

項目	主な施策	実施時期		
		短期（～2020）	中期（～2023）	中長期（～2025）
広域交通拠点へのアクセス道路整備による拠点性向上	広域交通拠点整備	熊本駅白川口駅前広場の整備	県道砂原四方寄線 （（都）熊本西環状線）暫定2車線整備	
広域交通拠点周辺道路整備による拠点性向上	Eビリティマネジメントの実施	サイクル&ライド用の駐輪場整備（熊本駅）	Eビリティマネジメントの実施（住民への利用促進啓発、出前講座）	

凡例

▶ 完了施策

▶ 実施中

【熊本駅周辺の通行量（単位：人/日）】

	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)
熊本駅周辺の通行量（3地点）	46,248	41,484	56,868	58,248	66,372	71,862	105,114

4. 成果指標の管理・評価 道路

◆ 現状

- ▶ 道路施策は、124施策中29施策（23%）が完了
- ▶ 渋滞時における自動車の平均旅行速度は、低下傾向（約19km/h）

◆ 理由

- ▶ 熊本地震における復旧工事の優先や新型コロナウイルスの影響による用地交渉機会減少などにより、16施策に完了時期の遅れが発生
- ▶ 熊本地震による路面状況の悪化や工事用車両の増加などにより平均旅行速度が低下
- ▶ 新型コロナウイルスの影響により、通勤時間帯（ピーク時）の公共交通利用者が自動車利用へ転換したことにより自動車利用が増加し、平均旅行速度が低下したと想定される

【渋滞時における自動車の平均旅行速度の推移（単位：km/h）】

※2022年度（R4年度）は速報値

平均旅行速度	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4速報値)
	23.1	18.8	19.0	17.3	19.5	18.7	18.3	18.6

熊本地震による影響

新型コロナウイルスによる影響

参考 公益財団法人日本道路情報センターにおける
断面交通量のオープンデータ



計測地点名称	2019.12.03-05 の朝ピーク時交 通量の平均値	2021.12.01-03 の朝ピーク時交 通量の平均値	2021/2019 (R3/R1)
県庁正門前 西出	981	1447	1.475
釈迦堂北行	670	1173	1.751
二本木入口 北出	490	740	1.510

4. 成果指標の管理・評価 道路

◆ 改善の方向性

- ▶ 渋滞時における自動車の平均旅行速度は、全体的に悪化しているが、施策の完了箇所では部分的に向上しており、未完了のアクションプランの施策を着実に推進していくことが重要
- ▶ 実施検討施策を実施施策として推進を図ることや新規施策の追加などにより道路整備を着実に進めていくことが重要
- ▶ 中期及び中長期完了予定の施策について、実施中の施策は着実に完了させるとともに、未着手施策は早期に着手し、着実に推進していくことが重要
- ▶ 実施施策の中で検討中としている施策について、早期に具体化し、事業効果を発現させることが重要

項目	主な施策	実施時期		
		短期（～2020）	中期（～2023）	中長期（～2025）
2環状1放射道路網の形成	環状道路の整備	県道砂原四方寄線（都）熊本西環状線等の整備		
	放射道路の整備	国道57号（瀬田拡幅）	国道3号植木バイパス、県道熊本高森線等の整備	
北熊本SIC整備				
交差点改良等による交通円滑化	標識及び信号制御	道路標識の設置、交差点信号制御の高度化		
多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	道路整備	県道小池竜田線等の道路整備	県道辛川鹿本線等の道路整備	
	無電柱化	市道春日2丁目第8号線等無電柱化	国道3号(南高江地区)等無電柱化	

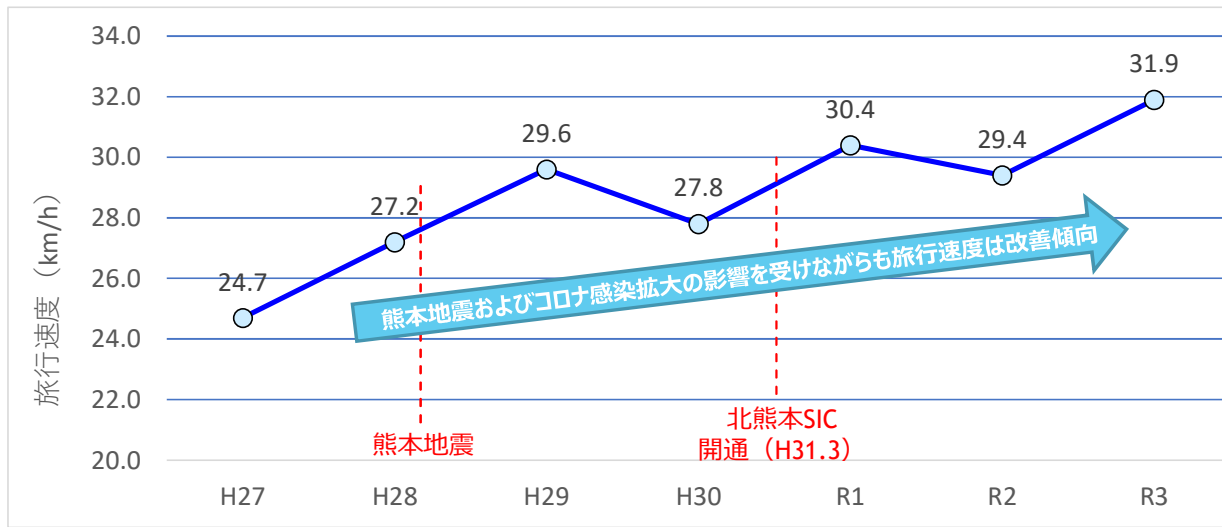
凡例	
	完了施策
	実施中

4. 成果指標の管理・評価 道路

◆道路施策による平均旅行速度の改善について

- ▶ 渋滞時における自動車の平均旅行速度は全体として低下傾向であるものの、北熊本スマートインターチェンジや周辺道路の整備により、高速道路の利用が増加・分散し、国道3号の一部区間において旅行速度の改善が確認。
- ▶ 全体の平均旅行速度についても、2022年度速報値は前年度と比較し回復傾向。

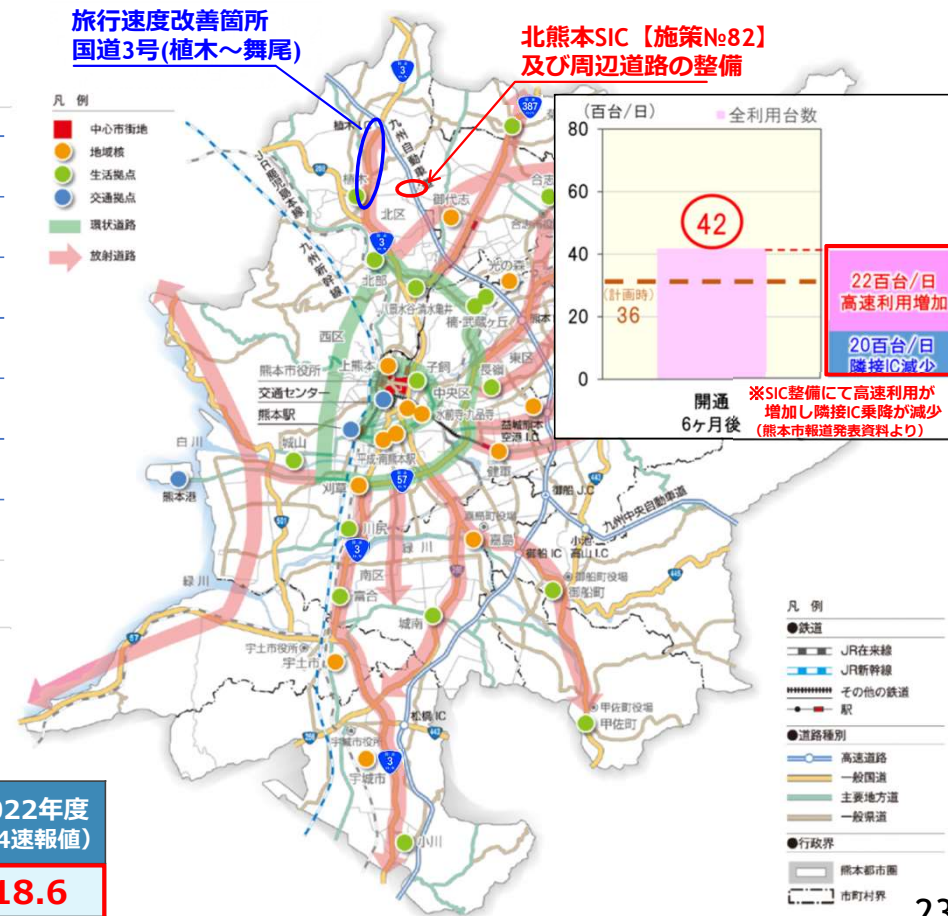
【国道3号（植木IC⇒舞尾区間）における旅行速度の推移】 ※H27～R3



【渋滞時における自動車の平均旅行速度の推移（単位：km/h）】

※2022年度（R4年度）は速報値

平均旅行速度	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4速報値)
	23.1	18.8	19.0	17.3	19.5	18.7	18.3	18.6



4. 成果指標の管理・評価 道路

【完了時期に遅れが生じている事業（道路施策124施策のうち15施策）】

施策No.	施策名	実施主体・関係者	施策区分	実施時期 (当初完了予定)	完了予定年度
68	県道堂園小森線(布田拡幅 西原村布田)整備	熊本県	道路 ・ ①2環状11放射道路網の形成	中期 (～2023)	2025
69	県道堂園小森線(小谷拡幅 益城町小谷)整備	熊本県	道路 ・ ①2環状11放射道路網の形成	中期 (～2023)	2025
70	国道443号(空港北拡幅 大津町下町～菊陽町曲手)整備	熊本県	道路 ・ ①2環状11放射道路網の形成	中長期 (～2025)	2027
75	県道砂原四方寄線((都)熊本西環状線 熊本市西区池亀町～池上町)暫定2車線整備	熊本市	道路 ・ ①2環状11放射道路網の形成	中期 (～2023)	2025
78	県道池上インター線(熊本市西区池上町)整備	熊本市	道路 ・ ①2環状11放射道路網の形成	中期 (～2023)	2025
92	市道東阿高今線(熊本市南区城南町宮地 城南総合出張所入口交差点)改良	熊本市	道路 ・ ②交差点改良等による交通円滑化	中期 (～2023)	2024
112	県道今吉野甲佐線(田口工区 甲佐町田口)整備	熊本県	道路 ・ ③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	中期 (～2023)	2025
114	県道原植木線(吉富工区 菊池市泗水町吉富)整備	熊本県	道路 ・ ③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	中期 (～2023)	2025
124	市道川尻町下無田第1号線(熊本市南区元三4丁目～熊本市東区画図町下無田)整備	熊本市	道路 ・ ③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	短期 (～2020)	2026
132	県道熊本玉名線(都)池田町花園線 熊本市西区上熊本2丁目～花園3丁目)整備	熊本市	道路 ・ ③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	中長期 (～2025)	2027
150	市道御代志木原野線(合志市御代志～野々島)整備	合志市	道路 ・ ③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	短期 (～2020)	2023
159	仮称・松橋駅西線(宇城市不知火町高良)整備	宇城市	道路 ・ ③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	短期 (～2020)	2023
168	町道西寒野打越線(甲佐町西寒野～東寒野)整備	甲佐町	道路 ・ ③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	短期 (～2020)	2023
169	町道上揚井戸江線(甲佐町上揚～安平)整備	甲佐町	道路 ・ ③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	短期 (～2020)	2023
178	県道熊本玉名線(都)池田町花園線 熊本市西区上熊本2丁目～花園3丁目)整備 無電柱化	熊本市	道路 ・ ③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	中長期 (～2025)	2027

4. 成果指標の管理・評価 道路

◆ 現状

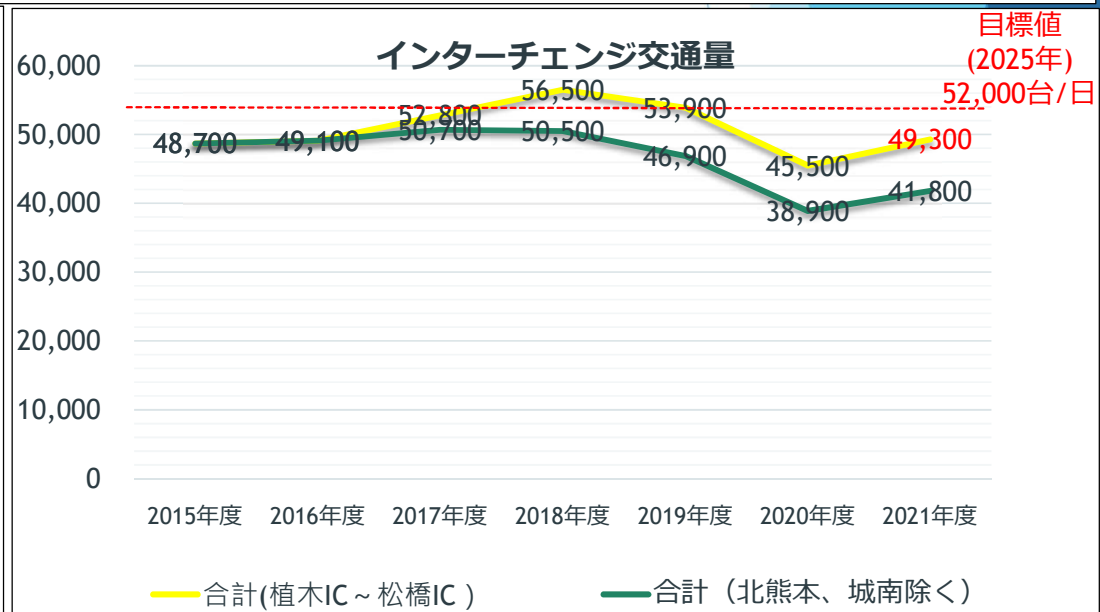
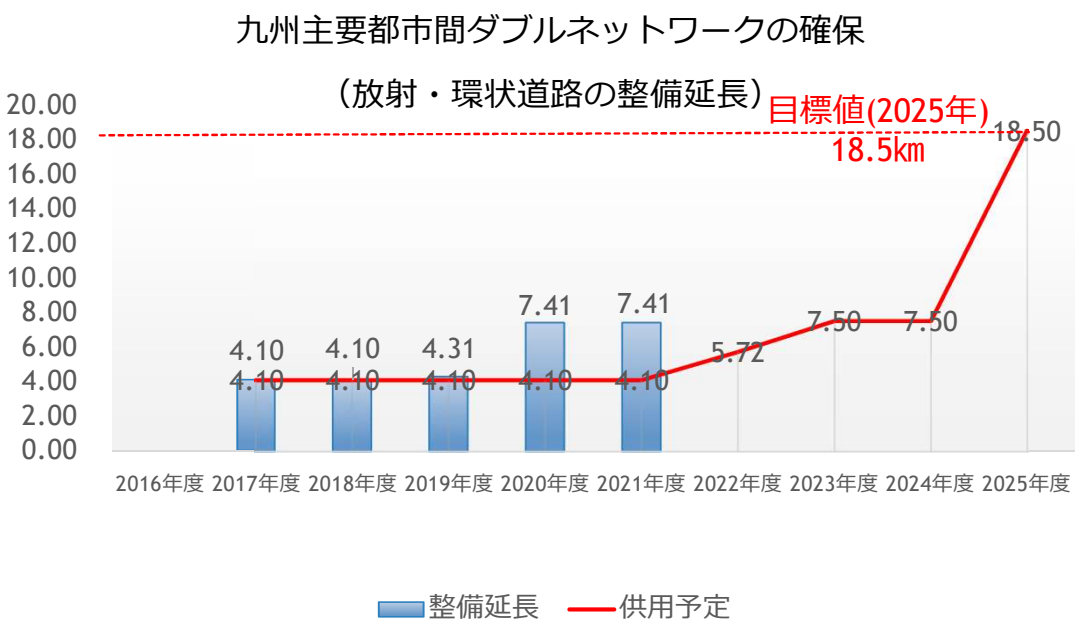
- ▶ 国道57号（瀬田拡幅）の整備などにより、九州主要都市間ダブルネットワークは、2021年度までに7.41kmを供用開始
- ▶ 城南SIC、北熊本SICの整備によりインターチェンジ交通量は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響などにより2020年から減少し、未回復の状況

◆ 理由

- ▶ 新型コロナウイルスの影響による外出機会の減少が考えられる

◆ 改善の方向性

- ▶ 高規格道路の利便性の向上や輸送機能確保のため、熊本西環状道路や植木バイパス等、2環状11放射道路の整備促進が重要



4. 成果指標の管理・評価

公共交通×道路×まちなか交通

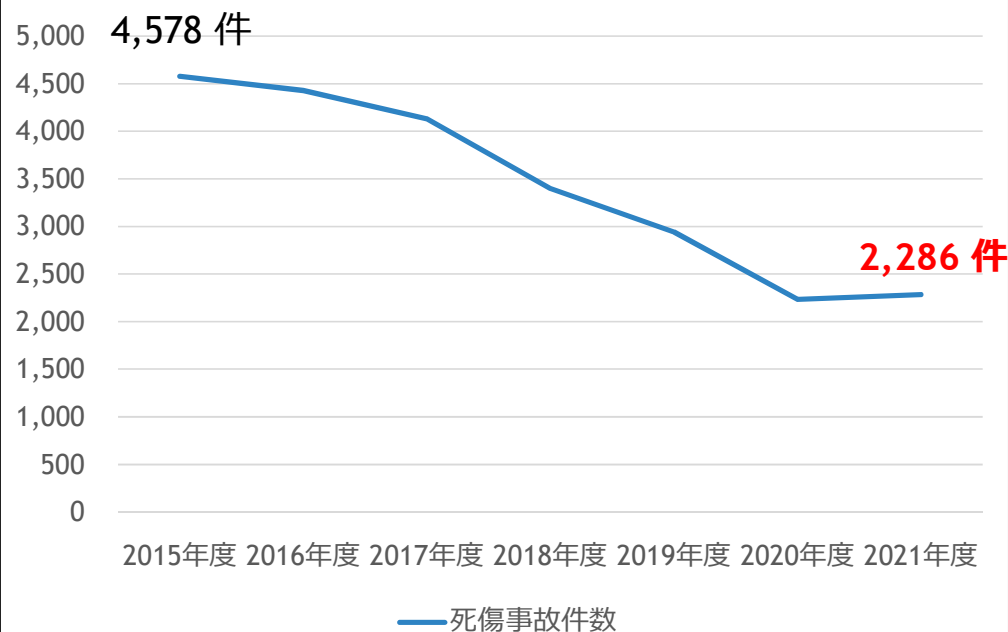
◆ 現状

- ▶ 交通事故による死傷事故件数が、約半数に減少
- ▶ 都市機能が充実していると感じる住民の割合は、数値が向上

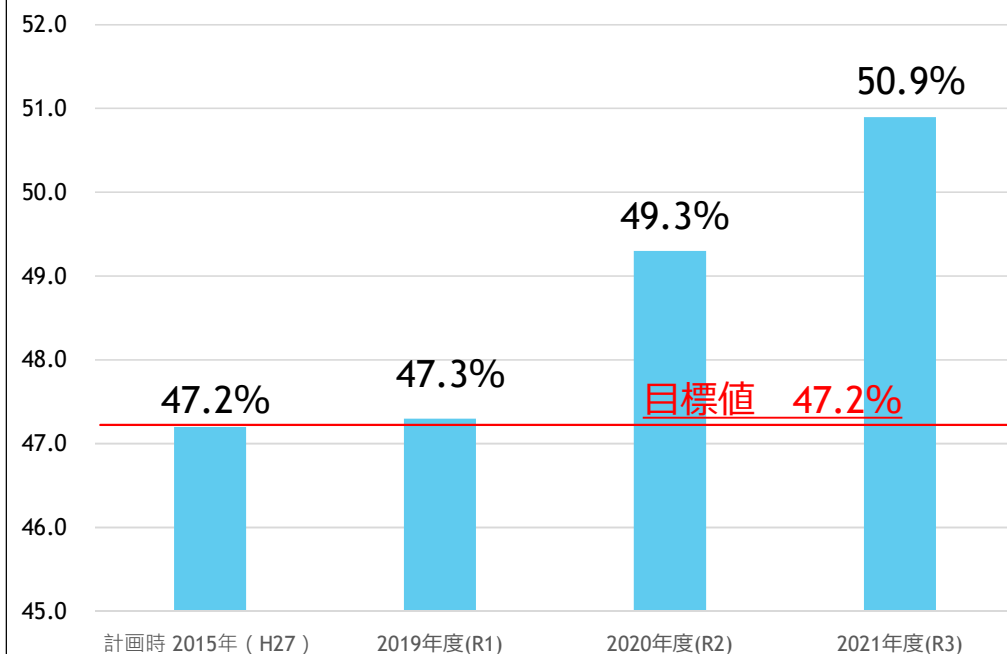
◆ 改善の方向性

- ▶ 新たな公共交通施策による公共交通の利便性向上や道路整備等により安全安心な都市交通の確保が重要

死傷事故件数



都市機能が充実して安全・快適と感じる住民の割合



5. 施策の見直し・改善

公共交通

- 新型コロナウイルスの影響に伴う公共交通機関利用者の回復に向け、バス・電車無料の日等による利用促進に向けた意識の醸成や乗継検索のシステム導入等による利便性の向上を図ることが重要
- 公共交通利用促進に向け、バスレーンの設置、快速バスの導入など、定時性・速達性を確保する施策の実現が必要

道路

- 渋滞の緩和や都市圏交通の円滑化に向け、中期・中長期完了予定の施策について、県及び熊本市の道路整備プログラム等と整合を図り、中期施策及び中長期施策を着実に推進していくことが必要
- 併せて、実施施策の検討中の施策について、実施時期の明確化や施策の早期具体化が必要

まちなか交通

- 中心市街地のにぎわい創出に向け、シェアサイクルやグリーンスローモビリティなど新たなモビリティの検討を積極的に実施していくことが重要

社会情勢

- 新型コロナウイルスの影響や新たな企業立地等に伴う交通需要に応じた施策検討が重要

【施策の見直し・追加】

- ① 検討中の施策の具体化や実施検討施策から実施施策への変更
- ② 公共交通の利用促進やまちなかの回遊性向上に資する新たな施策を追加
- ③ 渋滞緩和や多核連携型の都市圏交通構築に資する新たな道路整備を追加

5. 施策の見直し・改善

◆ 実施検討施策から実施施策へ

【道路】

施策名	No.	実施主体・関係者	【基本施策・基本施策区分】	完了時期
中九州横断道路（大津熊本道路）整備	187	国土交通省	道路・① 2環状 1 1放射道路網の形成	以降（2026～）
熊本天草幹線道路（宇土三角道路）整備	189	国土交通省	道路・① 2環状 1 1放射道路網の形成	以降（2026～）

◆ 追加施策（実施施策）

【公共交通】

施策名	No.	実施主体・関係者	【基本施策・基本施策区分】	完了時期
空港アクセスの改善 （空港アクセス鉄道整備調査検討）	226	熊本県	公共交通・①基幹公共交通の定時性、速達性、輸送力の強化	以降（2026～）
路面電車運行情報の提供 （デジタルサイネージの導入）	227	熊本市	公共交通・④公共交通の利用促進、防災力の向上	中期（～2023）
公共交通のシームレス化の推進	228	熊本市	公共交通・④公共交通の利用促進、防災力の向上	中長期（～2025）
公共交通の利用促進事業	229	熊本市・交通事業者	公共交通・④公共交通の利用促進、防災力の向上	中期（～2023）

【道路】

施策名	No.	実施主体・関係者	【基本施策・基本施策区分】	完了時期
六嘉秋津新町線（北甘木工区）	230	熊本県	道路・②交差点改良等による交通円滑化	中長期（～2025）
国道443号（辺田見工区）	231	熊本県	道路・②交差点改良等による交通円滑化	中期（～2023）
国道443号（小池工区）	232	熊本県	道路・②交差点改良等による交通円滑化	中長期（～2025）
御船甲佐線（田口工区）	233	熊本県	道路・②交差点改良等による交通円滑化	中期（～2023）
（みなみがおおひとあしせん） 南方大人足線交差点改良事業	234	菊陽町	道路・②交差点改良等による交通円滑化	中長期（～2025）

5. 施策の見直し・改善

◆ 追加施策（実施施策）

【道路】

施策名	No.	実施主体・関係者	【基本施策・基本施策区分】	完了時期
(都) 菊陽空港線（県道新山原水線）整備	235	熊本県・菊陽町	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	以降（2026～）
(主) 大津植木線 多車線化	236	熊本県	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	以降（2026～）
合志ICアクセス道路	237	熊本県	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	以降（2026～）
三本松甲佐線（上揚工区）	238	熊本県	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	以降（2026～）
横野矢部線（滝尾工区）	239	熊本県	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	中長期（～2025）
瀬田熊本線（錦野工区）	240	熊本県	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	以降（2026～）
原植木線（南田島工区）	241	熊本県	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	短期（～2020）
（かみむれなかばやしせん） 市道上群中林線整備	242	合志市	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	中長期（～2025）
杉並木公園線延伸計画道路事業	243	菊陽町	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	以降（2026～）
町道中早川北早川線（甲佐町早川）整備	244	甲佐町	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	中長期（～2025）
町道大町塔ノ木線（甲佐町早川）整備	245	甲佐町	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	中長期（～2025）

【まちなか交通】

施策名	No.	実施主体・関係者	【基本施策・基本施策区分】	完了時期
駐車場の適正配置・集約駐車施設の整備促進 （財政支援）	246	熊本市	まちなか交通・①中心市街地の拠点機能の向上	中長期（～2025）
シェアサイクル導入	247	熊本市・シェアサイクル事業者	まちなか交通・①中心市街地の拠点機能の向上 ③自転車ネットワークの形成	中期（～2023）
まちなかループバスの導入	248	熊本市 バス事業者	まちなか交通・①中心市街地の拠点機能の向上	中期（～2023）

5. 施策の見直し・改善

◆ 追加施策（実施検討施策）

【道 路】新規施策（実施検討施策）

施策名	No.	実施主体・関係者	【基本施策・基本施策区分】	完了時期
熊本都市圏北連絡道路・熊本都市圏南連絡道路・熊本空港連絡道路	249	調整中	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	実施検討施策
熊本都市圏北部の渋滞対策検討	250	調整中	道路・③多核連携、防災機能向上等に資する道路整備	実施検討施策
国道387号（須屋付近）道路計画検討	251	熊本県	道路・① 2環状11放射道路網の形成	実施検討施策

【まちなか交通】新規施策（実施検討施策）

施策名	No.	実施主体・関係者	【基本施策・基本施策区分】	完了時期
グリーンスローモビリティの導入	252	熊本市	まちなか交通・②歩行者ネットワークの形成	実施検討施策

5. 施策の見直し・改善（実施検討施策から実施施策へ）

（道路 No.187、189、190）

No.187 中九州横断道路（大津熊本道路）整備	R2年度（2020年度）	} 事業着手
No.189 熊本天草幹線道路（宇土三角道路）整備	R3年度（2021年度）	

- ▶ 実施検討施策である中九州横断道路（大津熊本道路）、熊本天草幹線道路（宇土三角道路）については、総合交通戦略策定時の予定よりも前倒しで、実施施策へ移行



5. 施策の見直し・改善（公共交通関連施策の追加）

（公共交通 No.227、228）

公共交通のシームレス化の推進

- ▶ 新たなモビリティサービスの展開を見据え、新技術を活用したMaaSの導入検討等により交通シームレス化を推進

路面電車運行情報の提供（デジタルサイネージの導入）

- ▶ 運行情報はもとより周辺の観光情報等を発信できるデジタルサイネージを電停に設置し情報発信の強化により市電の利用促進を図る



8



5. 施策の見直し・改善（公共交通関連施策の追加）

（公共交通 No.229）

公共交通の利用促進事業

- ▶ 「バス・電車無料の日」などにより市民が公共交通を利用する“きっかけ”をつくり、公共交通の利用を促進するとともに、公共交通への転換により常態化する交通渋滞の緩和を図る
- ▶ 併せて、買い物等の外出機会の創出による地域経済の活性化や環境負荷の軽減など多面的な効果の発現も図る

クリスマス・イヴは 公共交通に乗るばい! 1日限定

バス・電車 無料の日 2022

令和4年12月24日土

実施内容
熊本市を一部でも通過するバス・電車を無料化します。
※対象は熊本市域に限定しません。どなたでも利用でも構いません。

参加事業者
九州産交バス・産交バス・熊本電鉄(バス・電車)
熊本バス・熊本都市バス・熊本市交通局

利用方法について
●バス・熊本電鉄電車
乗車時：整理券をお取りください。
降車時：整理券を指定の回収場所に入れてください。
※熊本電鉄「しずかちゃん」については、整理券が取りませんのでそのまま乗車下さい。

対象路線について
熊本市を一部でも通過する全ての路線バス及び熊本電鉄電車、熊本市電の全線
※ただし、以下の路線は対象外となります。
●空席利用バス、熊本銀行行庫、博多くまもと交通銀行
●熊本の産交バス(産交バス、たかひびき)
●県外高速・特急バス(ひのくに号、やまびこ号 など)

注意事項について
●市域外に乗り入れないバスは、乗車時に整理券を回収し、降車時に回収してください。
●熊本電鉄電車は、乗車時に整理券を回収し、降車時に回収してください。
●熊本市電は、乗車時に整理券を回収し、降車時に回収してください。
●熊本電鉄電車は、乗車時に整理券を回収し、降車時に回収してください。
●熊本市電は、乗車時に整理券を回収し、降車時に回収してください。

詳しくは、下記URLまたは右記二次元バーコードからホームページへ
https://www.city.kumamoto.jp/hpkj/pub/Detail.aspx?c_id=5&id=46212 /バス・電車無料の日

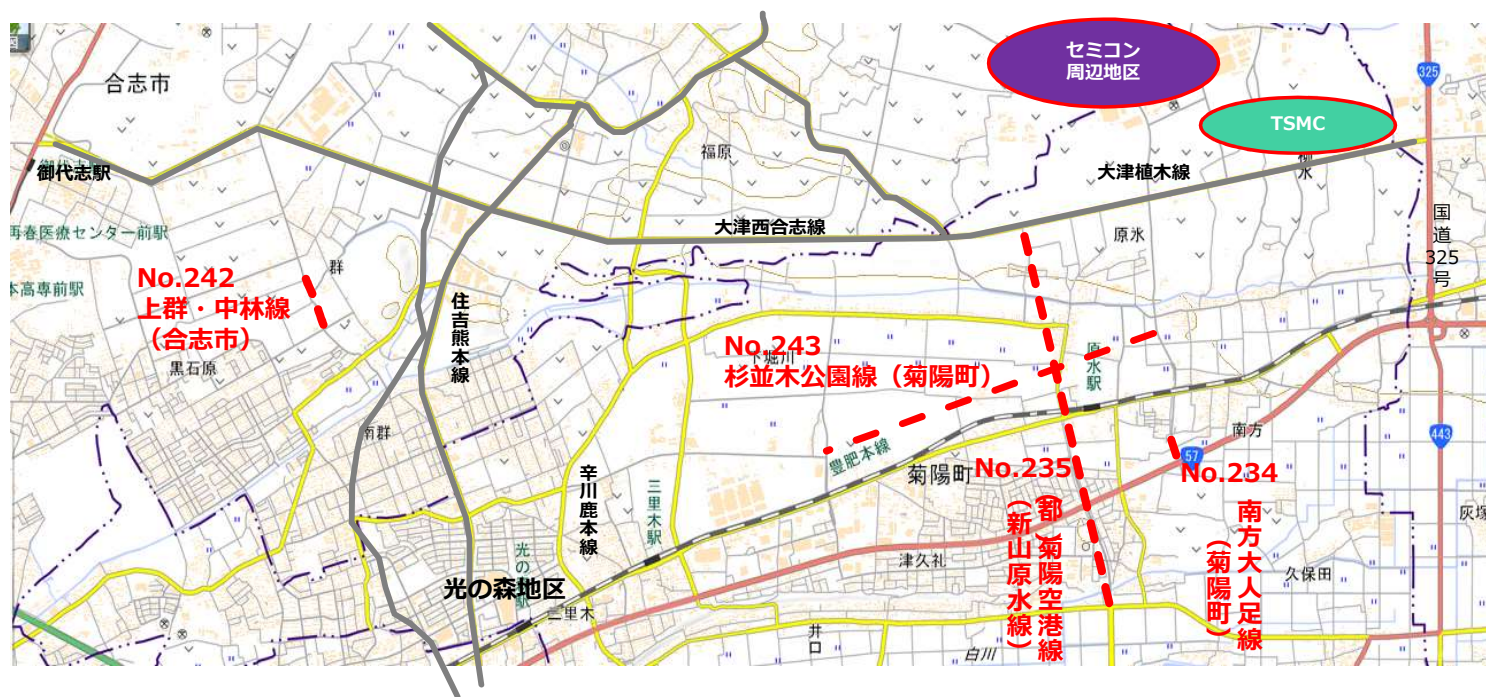
お問い合わせ：熊本市 交通企画課 TEL.096-328-2510

5. 施策の見直し・改善（菊陽周辺の道路施策の追加）

（道路 No.234、No.235、No.242～243）

（都）菊陽空港線（新山原水線）整備 他3路線

- ▶ 菊陽町・合志市・大津町の人口増加やTSMC等関連企業進出などの社会情勢変化に対し、交通安全対策や渋滞対策に資する4路線の整備を位置付けるもの

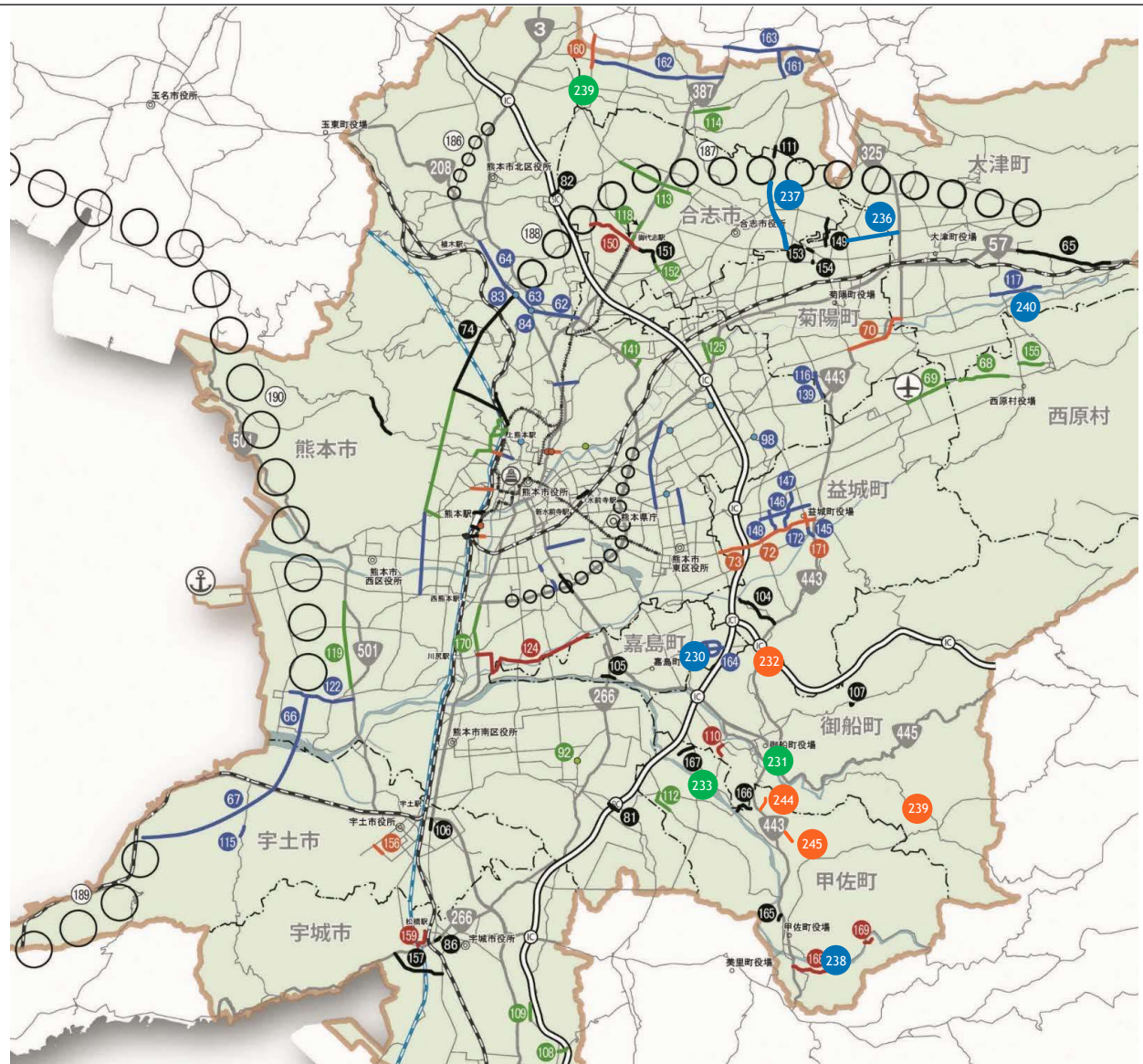


5. 施策の見直し・改善（道路施策の追加）

（道路）

多核連携、防災機能向上等に資する道路として整備を実施しており、道路整備プログラムとの整合を図る

- No.230 六嘉秋津新町線（北甘木工区）
- No.231 国道443号（辺田見工区）
- No.232 国道443号（小池工区）
- No.233 御船甲佐線（田口工区）
- No.236 大津植木線 多車線化
- No.237 合志ICアクセス道路
- No.238 三本松甲佐線（上揚工区）
- No.239 横野矢部線（滝尾工区）
- No.240 瀬田熊本線（錦野工区）
- No.241 原植木線（南田島工区）
- No.244 町道中早川北早川線（甲佐町早川）整備
- No.245 町道大町塔ノ木線（甲佐町早川）整備

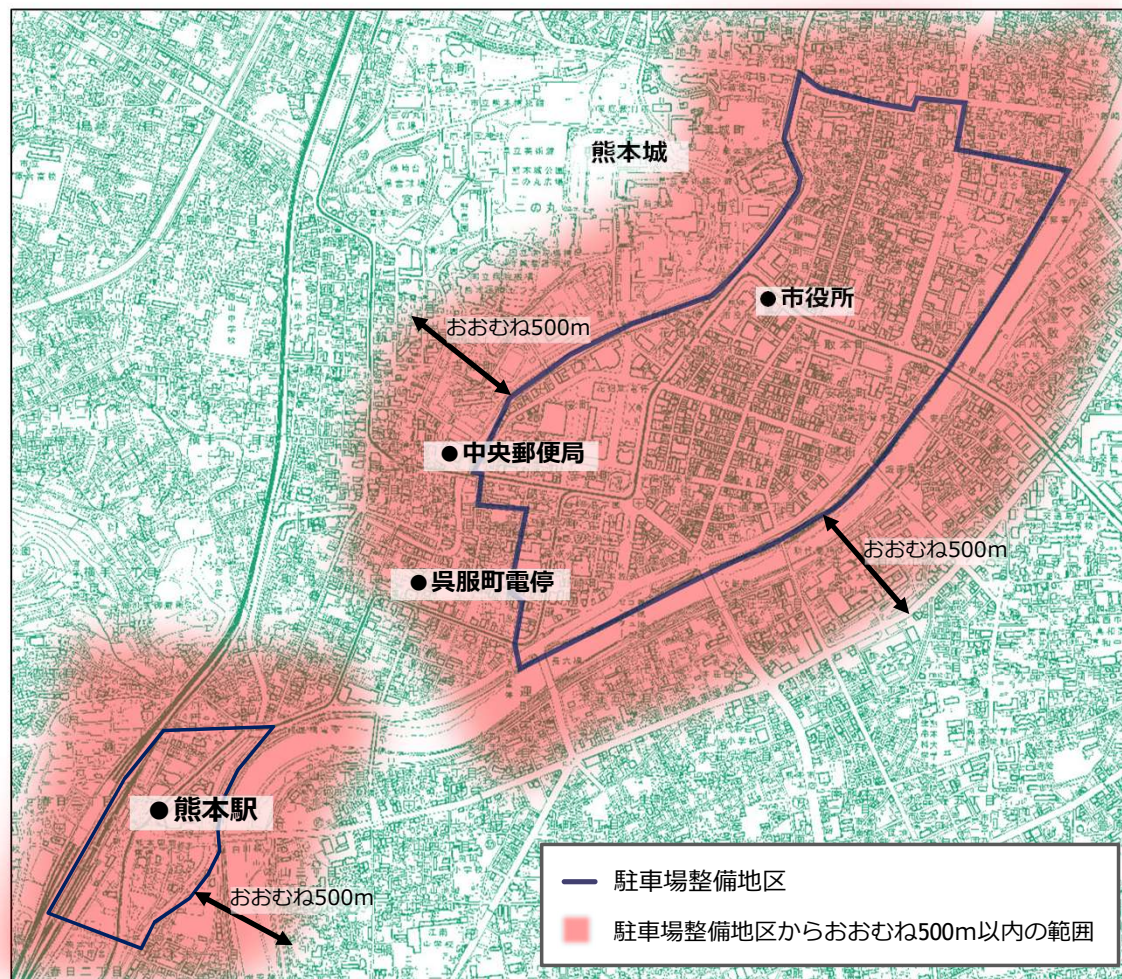


5. 施策の見直し・改善（まちなか交通関連施策の追加）

（まちなか交通 No.246）

駐車場の適正配置・集約駐車施設の整備促進

- ▶ これまで、自動車の普及と都市の発展に対応するため、駐車場を「つくる」ことを重要視してきた結果、現在、自動車利用に対応する十分な量の駐車場が確保
- ▶ 今後は、駐車場を『コントロール(総量と配置等を適正化)』し、まちなかの交通円滑化や誰もが安心して訪れられる環境形成を図る。



5. 施策の見直し・改善（まちなか交通関連施策の追加）

（まちなか交通 No.247、No.248）

シェアサイクルの導入

- ▶ 中心市街地の回遊性向上や周辺での近距離移動手段確保を図るためシェアサイクルを導入

まちなかループバスの導入

- ▶ 熊本駅ビルの商業施設開業に合わせて、中心市街地を「早く」「安く」「わかりやすく」結ぶまちなかループバスを運行
- ▶ 中心市街地のバス停間をノンストップで運行することで、回遊性向上を図り、更なる賑わいの創出や公共交通利用者の増加を図る

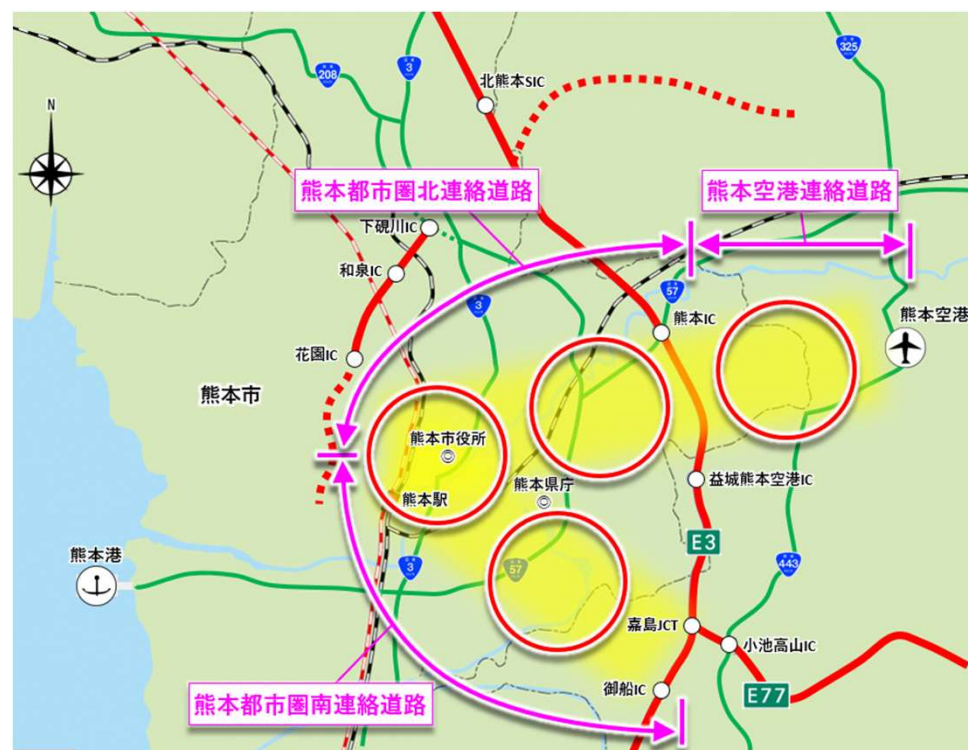


5. 施策の見直し・改善（都市圏連絡道路関連の追加）

（道路 No.249）

熊本都市圏北連絡道路・熊本都市圏南連絡道路・熊本空港連絡道路

- ▶ 熊本県新広域道路交通計画（R3.6）にて、熊本都市圏における慢性的な交通渋滞などの課題に対応するため、熊本市中心部から高速道路インターチェンジまでを約10分、熊本空港までを約20分で結ぶ「10分・20分構想」を新たに掲げ、熊本都市圏北連絡道路・熊本都市圏南連絡道路・熊本空港連絡道路を新たな高規格道路として位置づけたことから総合交通戦略においても当該路線の整備について位置づけるもの



5. 施策の見直し・改善（菊陽周辺の道路施策の追加）

（道路 No.250）

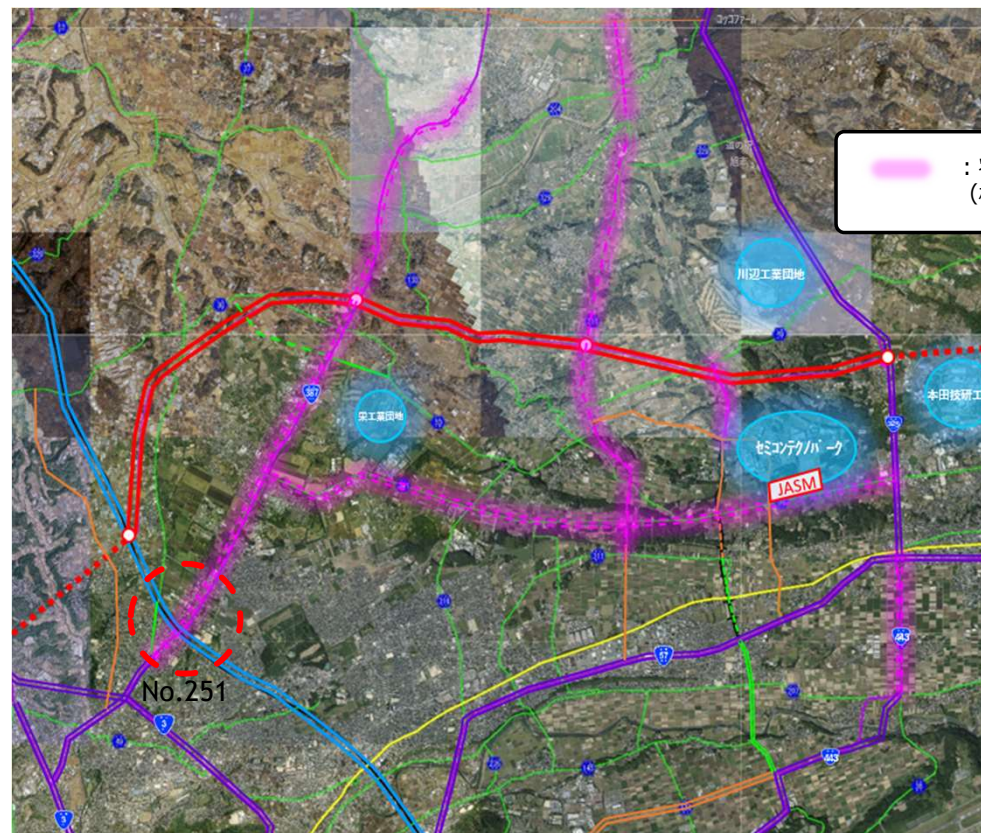
熊本都市圏北部の渋滞対策検討

菊陽町・合志市・大津町の人口増加やTSMC等関連企業進出による関連車両の増加などの社会情勢の変化に対し、熊本都市圏北部の渋滞対策を検討

（道路 No.251）

国道387号（須屋付近）道路計画検討

2環状1放射道路の一つに位置付けられている国道387号の渋滞緩和のため、道路計画の検討を行う



：将来構想
（検討範囲(No.250)）

5. 施策の見直し・改善（まちなか交通関連施策の追加）

（まちなか交通 No.252）

グリーンスローモビリティの導入

- ▶ 中心市街地の回遊性の向上、地域・生活拠点の移動支援を図り、グリーンスローモビリティを導入



6. 今後のスケジュールについて

- 今回、短期終了後1年経過時点の施策の進捗状況、成果指標で設定した目標値の達成状況の確認評価を実施
- 各年度ごとに施策の進捗状況の進捗管理を行うとともに、2026年度（総合交通戦略最終年の次の年）に協議会を開催し、施策の進捗状況、成果指標で設定した目標値の達成状況を確認・評価を行い、次期総合交通戦略の手法を確立していく予定

	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)
総合交通戦略	進捗状況管理				
次期総合交通戦略					次期戦略策定